

博物館からのお知らせ

開館時間

博物館は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため時間を短縮して開館していましたが、6月19日(金)から平常通りの時間帯で開館しています。

▶開館時間 午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

▶休館日 月曜日（祝日の場合はその翌日）

企画展の期間延長と中止について

企画展「日田の城跡を歩く」の展示期間を延長して行います。

▶展示期間 8月30日(日)まで

延期となっていた左記企画展イベントは中止します。

▶中止イベント 体験教室「木材を使って刀をつくってみよう!!」

夏休みイベントの中止

例年、夏休み及び9月に開催している左記のイベントを中止します。

- ・夏休み自然教室（植物教室・昆虫教室・植物昆虫同定会・地質探検教室・干潟観察会）
- ・夏休み自然研究作品展
- ・夏の星空観望会
- ・自然観察会



☎日田市立博物館 ☎225394

市長コラム

坂の上の雲を探して 71

今年の4月3日、作家で環境保護活動家のC・W・ニコルさんが79歳で他界しました。ニコルさんは、英国のウエルズ出身で1962年に初来日後、1980年に長野県に拠点を置いて森の再生活動などに取り組み、1995年には日本国籍を取得しました。実は、私が若い頃から親しくさせていただいた人でもあり、今回の訃報に大きな衝撃を受けています。

先日、テレビで、ニコルさんが遺した言葉を生前つながりがあった人々に読み解いてもらいなगरら、今後、私たちが新型コロナの時代をどう生きるべきかヒントを探っていくという番組が放映されてきました。

この番組では、亡くなる前にニコルさんが発表したメッセージが紹介されました。その中でニコルさんは「ウィルスと向き合う上で求められているのはバランスである」と訴えています。ニコルさんは人と自然の関わり方を語るとき、よく「バランス」という言葉を使っていました。

今日の日本は、大きな開発を伴って産業振興や経済発展が進められてきましたが、併せて環境破壊も深刻化するなど、経済を過剰に優先した社会であったのかもしれない。そうした中においては、経済と自然との「バランス」は非常に重要だと感じます。

また、最近「With（ウィズ）コロナ」という言葉をよく耳にするようになりましたが、人類とウィルスの共存も「バランス」だと思います。

「新しい生活様式」を求められるこれからの時代は、消費の価値観や行動も変わっていく世の中になると思います。実際にどんな生活になっていくのか、現時点ではまだ分かりませんが、今回の新型コロナは、自分たちの未来を丁寧に見つめ直すいい機会なのかもしれません。

悲観するだけではなく、新しい未来を創っていくきっかけにしていきましょう。



広報ひたは、資源保護のため植物油インキを使用しています。